



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 組織情宣部
2024年6月30日 No.782

お客さま視点にたったダイヤ運用を求める！

就業規則を正しく説明できる企業体質を求める！

幹申第3号「2024年3月ダイヤ改正に関する申し入れ」を提出！

2024年3月16日にダイヤ改正が実施され、3ヶ月が経過しました。ゴールデンウィーク期間中の新幹線のご利用状況は対前年比103%であり、概ね順調な運行となっています。

その一方で、社員の働き方も複雑化するなか、社員に対し間違った業務指示の説明が未だに放置されている企業体質があります。

新たな商品価値を生み出すダイヤ改正は利便性向上を実現し、利用促進を図る必要があります。ダイヤ改正の実施後に現れている課題に向き合い、改善に向けて検討していく必要があることから、私たち東日本ユニオンは現場に存在するコンプライアンス違反の温床を断ち、新幹線をご利用されるお客さま視点にたったダイヤ運行を求め、6月25日に新幹線統括本部に幹申第3号「2024年3月ダイヤ改正に関する申し入れ」を提出しました。

《申し入れ項目》

1. 余裕を持った乗り換え時間を確保するため、同一線区、同一方向における新幹線の乗り換えは、対面乗り換えとすること。
2. 2024年3月ダイヤ改正説明会の場で説明された「その他時間」の内容が間違っているため、改めて正しい内容を社員説明すること。
3. 間違った説明をした原因と、その状態を放置している理由を明らかにすること。
4. 第3項の対策を明らかにすること。